

奄美群島振興開発総合調査報告書の概要

第 I 編 奄美群島振興開発の概要と群島の現状・課題

第1章 奄美群島の概況

第1節 自然条件と特性

位置, 総面積, 人口, 気候など奄美群島の特性

- 奄美群島は外海隔絶性が強く, 台風常襲地帯という厳しい地理的・自然的条件
- 若年層などの人口流出が続いており, 人口は, 平成22年から27年にかけて県平均の2倍以上となる7.3%の減少
- 全国に比べて物価は高いものの, 一人当たりの所得は低いという状況は続いており, 郡民所得は国民所得の72.9%

第2節 人口, 所得

以下の点について, 本県, 沖縄県及び全国との比較

- 1 人口の動向・年齢構造
- 2 産業別就業構造及び産業別就業者の推移, 男女別就業構造及び年齢階級別就業構造
- 3 郡民所得
- 4 所得構造, 島別主要産業分野及び地域経済循環

第3節 市町村財政

財政規模, 歳入・歳出, 主な財政指標(財政力指数, 経常収支比率, 実質公債費比率, 将来負担比率)の本県, 沖縄県及び全国との比較

第4節 行政制度の沿革

戦前, 行政分離から日本復帰まで及び復帰から現在までの沿革

第5節 特筆すべき奄美群島の自然・文化

- 1 貴重な動植物などが生息・生育する豊かな自然環境
- 2 歴史と風土の中で培われてきた多様で個性的な伝統・文化
- 3 安心して子どもを産み育てることができる環境
- 4 長寿・癒しの島

第6節 国境離島としての役割

- 1 領土や広範囲な領海・排他的経済水域を保全するという大きな役割
- 2 奄美群島周辺水域は, 日本の海上交通の要衝の一つ

第2章 奄美群島振興開発の概要

下記の期間ごとに振興開発の経緯及び成果を取りまとめ, その評価を踏まえた上で, 特別措置法の必要性に言及

第1節 奄美群島振興開発の経緯

- 1 奄美群島復興特別措置法の制定に至るまでの経緯(S28.8~S29.6)
- 2 奄美群島復興計画(S29~S38)
 - (1) 奄美群島復興計画(S29~S33)
 - (2) 奄美群島復興計画(改定10か年計画)(S29~S38)

3 奄美群島復興計画(S39～S48)

- (1) 奄美群島復興計画(S39～S43)
- (2) 奄美群島復興計画(改定10か年計画)(S39～S48)

4 奄美群島振興開発計画(S49～H30)

- (1) 奄美群島振興開発計画(S49～S53)
- (2) 奄美群島振興開発計画(改定10か年計画)(S49～S58)
- (3) 新奄美群島振興開発計画(S59～S63)
- (4) 新奄美群島振興開発計画(改定10か年計画)(S59～H5)
- (5) 第三次奄美群島振興開発計画(H6～H10)
- (6) 第三次奄美群島振興開発計画(改定10か年計画)(H6～H15)
- (7) 奄美群島振興開発計画(H16～H20)
- (8) 奄美群島振興開発計画(H21～H25)
- (9) 奄美群島振興開発計画(H26～H30)

第2節 奄美群島振興開発の成果

1 奄美群島復興・振興計画期間(S29～S48:20年間)

- 生活に密着した道路, 港湾, 保健施設, 学校, 水道, 電気など基礎的な公共施設等の急速な整備

2 奄美群島振興開発・新振興開発・第三次振興開発計画期間(S49～H15:30年間)

- 交通基盤のほか農林水産業等の産業基盤及び上下水道, 保健医療・福祉施設, 学校施設等の生活・教育基盤についてもそれぞれ整備が進み, 社会資本の整備における本土との格差は大きく改善

3 奄美群島振興開発計画期間(奄美群島振興交付金創設前)(H16～H25:10年間)

- 社会資本の整備が進み, 水道普及率, 国県道改良率は国・県平均を上回る
- 農業, 観光, 情報通信分野において, 地元を中心とした自立的発展に向けた動きの芽生え

4 奄美群島振興開発計画期間(奄美群島振興交付金創設後)(H26～)

- 社会資本の整備が更に進み, 民間テレビの難視聴地域がなくなる
- ソフト施策は「奄美群島振興交付金」を活用し, 農業, 観光/交流, 情報通信の重点3分野を中心とした産業振興, 人材育成など自立的発展に向けた取組を実施

第3節 奄美群島振興開発の評価

1 日本復帰から今日までの施策の評価

(1) 社会資本の整備に対する評価

- 奄美の厳しい地理的, 自然的, 歴史的条件等の特殊事情による不利性を克服するため積極的な諸施策が講じられており, 交通基盤や生活環境の整備も進み, 住民の生活水準の向上に貢献。今後は, 防災面からの整備や老朽化対策を行うとともに, 世界自然遺産登録を見据え, クルーズ船の対応など外国からの入込客を意識した整備も必要

(2) ソフト施策に対する評価

- 奄振交付金を活用した施策により, 交流人口の増加や農業産出額の拡大などの効果が見られているが, これらを更に拡大するため, 観光においては世界自然遺産登録を見据えた地域資源を生かした施策, 農業においては付加価値の高い農業生産等の推進や災害に強い農業施設の整備が必要

- 群島民を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ、収益性の高い仕事の創出や雇用拡大に関する施策、人の往来・物資の輸送に要する費用の低廉化施策の継続・拡充や、人口減少、少子・高齢化に対応した人材の確保・育成に関する施策が必要

2 現行計画の数値目標の評価(H29.10時点)

- 現行計画に掲げている平成30年度を目標年度とする16指標に係る18の数値目標について、現時点で目標を達成しているものが4件、目標達成率が80%台が8件

第4節 奄美群島振興開発特別措置法の必要性

- 奄美群島は、交通基盤や産業基盤等の社会資本整備が着実に図られ、地元の自主的かつ広域的な自立的発展に向けた取組が進行
- しかしながら、奄美群島には、地理的条件や自然的条件に起因する所得水準などの諸格差がいまだに存在
- 加えて、地域経済の循環において、所得が地域内の投資に使われず、移輸出入費などとして地域外に流出するなど、地域住民の所得増加につながっておらず、人口減少
- 奄美群島の自立的で持続可能な発展を図るためには、人材の確保・育成及び労働生産性の向上、奄美群島が抱える条件不利性の更なる解消を図る必要
- そのためには、今後とも法に基づく特別措置による支援(法延長)が不可欠

第3章 奄美群島の現状と課題

現行計画の進捗状況を踏まえた課題を記載

第1節 定住を促進するための方策

- 地域の特性を生かして農業、観光、情報通信産業などの更なる振興を図るとともに、情報発信や受入体制の整備などの定住を促進するための取組が必要

第2節 交流拡大のための方策

- 世界自然遺産登録も見据え、奄美の自然や景観に配慮した施設等の整備を進めるとともに、既存港湾施設の有効活用も含めたクルーズ船等の受入環境整備などを図る必要
- また、自然や伝統・文化など奄美群島の観光資源を生かした交流拡大のための取組が必要

第3節 奄美群島が抱える条件不利性の改善

- 運賃・輸送コストの更なる軽減を図るとともに、島内を循環する道路の整備や空港、港湾などの交通結節点へのアクセスの改善が必要

第4節 奄美群島の生活基盤の確保・充実

- 保健医療福祉施策、教育及び人材育成、資源・エネルギーなど、生活基盤の充実・確保を図るための施策に取り組む必要

第Ⅱ編 今後の奄美群島振興開発の方向

第1章 振興開発の基本方針

奄美群島は、人口減少や高齢化が進み地域の活力低下が懸念されている状況にあるが、これは、大局的に見れば島国である日本の将来にも通じる課題であり、国全体の課題として対処していく必要がある。また、奄美群島は国境離島としての海上の安全の確保や国土防衛などの重要な機能を担っている。

特に、奄美群島は、遠隔地にありながらも有人離島の中では最も人口の多い島があるなど、その経済活動の維持・活性化は我が国の南方海域における政治・経済的な影響力にも関連するものと言える。

一方、奄美群島ではLCC就航やクルーズ船の寄港による交流人口の増加や、世界自然遺産登録を見据えた官民の動き、大河ドラマ「西郷どん」の放送など追い風が吹いているところである。

今後、群島の人口の著しい減少を食い止めるためには、こうした追い風のもと、定住促進のための産業の振興、世界自然遺産登録などを生かした交流人口の拡大、地域を支える人材の確保・育成、条件不利性の改善等の施策の展開を図る必要がある。

基本方針

- 定住を促進するための方策
- 世界自然遺産登録などを生かした交流拡大のための方策
- 滞在型・着地型観光を促進するための方策
- 奄美群島が抱える条件不利性の改善
- 奄美群島の生活基盤の確保・充実
- 地域主体の取組の促進

第2章 振興開発の施策の方向

第1節 定住を促進するための方策

1 産業の振興

(1) 農業

- ◆ 効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者や認定新規就農者、集落営農組織等の担い手の確保・育成を図る
- ◆ 効率的な農地利用や農業生産基盤整備を推進
- ◆ 畑かんの水利用等による収益性の高い営農や、農産物の付加価値を高めるためのブランド化・農産物加工、販路拡大の取組などを推進
- ◆ 農業技術の開発・普及や特殊病害虫対策を推進
 - ⑨スマート農業(IoT, AI等の活用)の取組への支援等の検討
- ◆ 防風対策に配慮したハウス施設や平張施設の整備など自然災害対策を推進
- ◆ 農業団体の営農指導体制や生産販売体制の強化等を推進
- ◆ 環境と調和した農業の促進など安心・安全な農畜産物の安定供給を図る
- ◆ 奄美の「食」の提供等による地産地消や、食育、食文化の継承等の取組を推進
- ◆ 共生・協働の農村(むら)づくり運動の展開や都市と農村の交流促進など農村の振興を図る

(2) 観光産業

第3節 「滞在型・着地型観光を促進するための方策」において記載

(3) 情報通信産業

- ◆ 超高速ブロードバンド基盤等情報通信基盤の整備を促進
- ◆ 行政や各産業におけるICTの利活用を推進
- ◆ 各産業と情報通信産業の連携等によるICTを活用した地域づくりを図る
- ◆ ICTの専門知識・技術を有する人材育成や住民の学習機会拡充など情報活用能力の向上を図る
- ◆ 放送事業者と連携したラジオの難聴取地域の解消を図る

(4) 地域の特性を生かした産業の振興

- ◆ 漁業の生産性向上，島内外における水産物の消費拡大やブルー・ツーリズムの促進等水産業の振興を図る
 - ⑨沖縄への出荷に係る水産物流通支援実証事業の後継事業の検討
- ◆ 森林の整備，木材加工・流通体制の整備等林業の振興を図る
- ◆ 大島紬，奄美黒糖焼酎等地域の資源と伝統を生かした特産品の振興や地域の優位性を生かせる業種等の企業立地など工業の振興を図る
- ◆ 起業化の促進及び産業振興等による雇用機会の拡充を図る
 - ⑨新たな雇用の創出等のための創業支援・事業拡大支援制度の創設検討
- ◆ 経営の近代化等商業の振興や中小企業の経営革新への取組等の支援を図る
- ◆ 若者の地元就職の促進と働き方改革の推進を図る
- ◆ (独)奄美群島振興開発基金の業務及び機能の拡充等により群島金融の円滑化を図る
 - ⑨奄美群島振興開発基金の出資制度等の機能充実検討

2 定住・交流の促進

- ◆ 移住相談から定着まで一貫したサポート体制の充実や空き家の活用等による住居の確保など，移住者を受け入れやすい環境づくりを促進
- ◆ 移住に必要な情報を全国に向け情報発信し，奄美群島への移住促進を図る
 - 集落機能の維持拡充・UIターン・定住促進施策(空き家対策等)の充実

第2節 世界自然遺産登録などを生かした交流拡大のための方策

1 世界自然遺産登録を見据えた施策の展開

- ◆ 「奄美群島自然共生プラン」に基づき人と自然の共生ネットワークの形成を図る
- ◆ 世界自然遺産としての価値の維持，自然環境の保全と利用の両立，地域の気運醸成等の取組を推進
- ◆ 「奄美群島持続的観光マスタープラン」に基づき，利用ルールの策定，施設整備，持続的な観光利用に向けた取組等を実施
 - ⑨「奄美群島持続的観光マスタープラン」に係る取組の推進

2 群島内外との交流の促進

- ◆ 群島内の島々を結ぶ周遊型観光の促進や農林水産業等の技術交流など，各分野における群島内の交流・連携の促進を図る

- ◆ 世界自然遺産の屋久島との交流促進や県内の世界文化遺産を生かした交流促進を図る
 - ⑨世界自然遺産の登録地である屋久島との交流促進
- ◆ 沖縄県との友好を深める取組や産業連携を進め、官民あげた交流・連携を促進
- ◆ グローバル化社会の進展に対応するため、青少年による国際交流事業を促進し人材育成を図るとともに、外国人住民の地域社会参画を促進する多文化共生の取組を推進

第3節 滞在型・着地型観光を促進するための方策

- ◆ 多様で豊かな自然や個性的な伝統・文化などの観光資源を活用した施策の展開を図る
- ◆ 世界自然遺産登録を見据え、保護と利用の両立に配慮した持続的な観光を推進
- ◆ 奄美の自然・食などを生かした新たな旅行商品の造成を支援
 - ⑩観光マーケティングに活用できるポイントシステム及び旅行商品の開発
- ◆ スポーツコミッションの立ち上げとスポーツ合宿の誘致を促進し、交流人口の拡大を図る
 - ⑩交流人口の拡大のためのスポーツコミッションの立ち上げやスポーツ合宿の誘致の促進
- ◆ 奄美の魅力ある地域資源を活用し、多彩な体験・滞在型観光を推進
 - ⑩奄美らしい滞在型・着地型観光事業の検討
- ◆ 顧客需要を意識したマーケティング戦略を推進し、奄美のブランド化を図る
- ◆ 観光ルートづくりやガイドの育成・確保等受入体制を整備
- ◆ 新たな観光ニーズにも対応した質の高い施設整備や、おもてなしを身近に体験できる民泊施設の整備を促進
- ◆ 奄美群島へのアクセス改善等観光交通体系を整備
- ◆ 移動コストの軽減により群島内外の相互交流を促進
 - 沖縄との交流に係る航空路・航路運賃の軽減
- ◆ 世界自然遺産を生かしたクルーズ商品の構築を促進
- ◆ 奄美大島へのLCC就航等による交流人口の拡大を生かし、群島間や沖縄間の交通の利便性向上を図りながら、世界自然遺産登録の効果を群島全体へ波及させる取組を推進
 - ⑩群島内の島々を周遊できるクルージングネットワークの形成
 - 既存施設の有効活用を含めたクルーズ船、定期船の受入環境の整備
 - ⑩「奄美群島アイランドホッピング検討事業」の検討結果を踏まえた取組
- ◆ ICTの活用等により魅力ある観光情報の発信を図る
- ◆ 地域産業と連携した、奄美の「食」の提供や体験型観光等を推進
- ◆ 奄美固有の自然や歴史、文化等を伝承・活用する活動を促進

第4節 奄美群島が抱える条件不利性の改善

- ◆ 航路・航空運賃及び農林水産物を出荷する際の輸送コストの軽減を継続するとともに、事業の充実・拡大及び利用促進を検討
 - ⑩航空・航路運賃軽減事業の継続，拡充の検討
- ◆ 加工品の輸送コスト及び農林水産物の生産資材等の移入に係る輸送コストの軽減を検討
 - 農林水産物輸送コスト支援事業等の継続
 - ⑩加工品も含めた輸送コスト支援の検討
 - ⑩農林水産物の生産に係る原材料等の移入コスト支援の検討

- ◆ 本土との格差が生じている物価格差の縮小を図る
- ◆ 加計呂麻島, 請島, 与路島の島外車検に伴う車両航送費の支援措置の実現に向けて取り組む
- ◆ 空港, 港湾, 道路等交通基盤の整備及び既存施設の老朽化対策を推進
- ◆ 近年の記録的な集中豪雨や台風被害を踏まえ, 防災及び国土保全施策を推進

第5節 奄美群島の生活基盤の確保・充実

- ◆ 離島の妊婦健診・出産, 不妊治療の受診に対する支援など保健医療施策を推進
- ◆ 高齢者等の状況に応じ, 医療・介護サービスが包括的・継続的に提供される地域包括ケアシステムの推進など地域福祉を充実
- ◆ 定住の促進に資する地域人材の育成のため, 地元指導者の確保, 指導者のスキル向上に必要な知識などを取得できる機会の提供や環境整備などを促進
- ◆ UIターン者等が働きやすい環境整備を促進するとともに, 伝統・文化や産業を支える人材の確保・育成に資する各種研修制度などについて検討
 - 奄美らしい離島留学制度の充実
 - ⑨奄美大島大学設立等可能性調査結果を踏まえた奄美らしい高等教育の在り方検討
 - ⑨観光, 情報通信産業分野などにおける人材育成事業の促進
- ◆ 上下水道, 区画整理, 公営住宅, 交通安全施設など, 生活環境を整備
- ◆ 地域環境の保全や循環型社会の形成を図る
- ◆ 自然環境配慮型・自然再生型公共事業等の取組を推進
- ◆ 小規模貯留施設等の整備及び老朽化したダムやため池等の補修・改修を計画的に推進し, 水資源の安定確保を図る
- ◆ 地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入促進等資源・エネルギー施策の推進を図る

第6節 地域主体の取組の促進

- ◆ 「奄美群島成長戦略ビジョン」の取組を促進
 - ⑨改訂「奄美群島成長戦略ビジョン」の取組を促進
- ◆ 群島の「結いの精神」などを生かした共生・協働による地域社会づくりを推進

第3章 島別の振興開発の方向

- 第1節 奄美大島
- 第2節 加計呂麻島, 請島, 与路島
- 第3節 喜界島
- 第4節 徳之島
- 第5節 沖永良部島
- 第6節 与論島

第4章 奄美群島振興開発の効果的な推進

今後、奄美群島が置かれている厳しい条件を克服しながら、自立的発展を図るためには、これまで述べてきたとおり、定住の促進、交流の拡大、条件不利性の改善等を図る必要があり、そのための手段として以下の事項が必要。

なお、これらの実現に向けては、今後、県や地元市町村の考え方を国に十分理解してもらったうえで、国の制度や予算の検討を進めてもらうことが必要。

1 法令改正による対応

(1) 目的・基本理念規定の充実

- 奄美群島が担っている国土防衛や周辺海域の安寧の維持など「国家的役割」及び、世界自然遺産登録推薦地として世界的に貴重な自然などを保全、継承し、活用することにより、国民に癒やしの空間を提供する「国民的役割」を追加、充実させる必要

2 予算措置等による対応

- (1) 奄美群島振興事業予算の充実、確保
- (2) 地方創生交付金の運用弾力化
- (3) 地方債枠の確保
- (4) 税制措置の充実延長
- (5) ガソリン流通コスト支援の維持・拡充
- (6) 奄美群島振興開発基金の充実

3 群島主体の取組(奄美群島成長戦略ビジョン等)の促進

奄美群島の地元12市町村が策定した「奄美群島成長戦略ビジョン」の実現などに向けて地元が必要とする制度等については、以下のとおりである。

- (1) 奄美群島振興債(仮称)の創設
- (2) 奄美群島総合特区創設
- (3) 無電柱化の推進

4 次期計画の数値目標の取扱い

現行の奄振計画においては、16の指標に係る18の数値目標を設定。

次期計画においては、引き続き、数値目標を設定することとするが、その具体的な項目や数値については、今後検討していくこととする。